

ゲノミック育種価一覧

枝肉主要3形質 (BMSNo.・枝肉重量・ロース芯面積) からみたゲノミック育種価ランキング順 (2020/08)

Table with columns: 略号, 名号, 後代数, (参考) 枝重(1): BMS(2): ロース(1), 標準化G育種価, 順位, BMS No, 枝肉重量 (kg), ロース芯面積 (cm2), パラの厚さ (cm), 皮下脂肪厚 (cm), 歩留基準値 (%), 脂肪酸組成 G 育種価 (MUFA, 肉脂肪酸).

上に示した枝肉形質に係るゲノミック育種価(6形質)は、令和2年6月までに出荷され収集された後代データ49,859頭、そのうち12,306頭のSNPデータ、データを収集した個体にかかわる162,668頭の血縁情報を用い、ssGBLUP法単形質アニマルモデルにより、当社が分析したものです。

ここでは15頭以上の後代を持つ肉用牛産肉能力準化促進事業における選抜種雄牛及び一般販売種雄牛のうち、新規選抜牛2頭を含む現在供用中の51頭を枝肉主要3形質(BMSNo.・枝肉重量・ロース芯面積)で見た場合のランキング(参考)の高い順に表示し、各形質10位以内に網掛けをしました。本文の種雄牛の紹介コメントにおけるゲノミック育種価の順位は、この一覧の順位を使用しています。「N」は今回新規に選抜された種雄牛です。

また、脂肪酸組成に係るゲノミック育種価(参考)は、平成24年4月から令和2年4月までに収集され、脂肪酸組成化学分析値(ガスクロマトグラフ法)及びSNP情報がそろった後代データ11,788頭を用い、GBLUP法単形質アニマルモデルにより当社が分析したものです。ゲノミック育種価の高い種雄牛10頭に網掛けをしました。